

# 世田谷区議会第3回定例会一般質問報告

9月20日から10月21日まで、区議会が開催されています。  
江口区議は9月22日に、一般質問を行いましたので、概要をご報告します。  
(質問・答弁は概要であり、区議会の正式な議事録ではありません)

**命を守るエアコン設置助成・  
夏季の電気代補助を！  
区長「実態調査を所管に指示」と答弁**



## ●深刻な物価高騰が区民生活を直撃

江口「物価高騰・年金削減など社会保障削減が続く中、区内でも生活困窮層が広がっています。

経済的困窮が命や健康被害をもたらす事態も生じています。  
この夏の災害級の猛暑では、地域の高齢の方から「エアコンを買い替えたいが、余裕がない。区の補助は無いのか?」「電気代が高くて使用を控えている。」等相談が続きました。」

## ●当区の今夏の屋内熱中症死亡者数は16名！ エアコン使用有無が命に直結

江口「東京都監察医務院によると、この夏の当区の屋内熱中症死亡者数は16名、うちエアコンがあっても未使用が12名、エアコン無しは1名。

昨年の死亡者数3名を大きく超える非常事態です。

23区の屋内熱中症死亡者はほぼ60歳以上の高齢者です。

区議団は8月5日、猛暑から命を守る対策として、低所得者等対象にエアコン設置助成・電気代補助求め、申し入れをしました。」

(申し入れ時点の区内熱中症死亡者は7名、その後屋内熱中症死亡者は16名に)

## ●「経済的弱者対策」は区政の基本姿勢！ エアコン設置助成・夏季の電気代補助を！

江口「区長は、エアコンを買えない、使用控えの困窮世帯がいることを、どう捉えますか。生命に直結する問題であり、来年度には区としての助成に踏み出して頂きたい。まずは実態調査を求めます。」

保坂区長

「16名という数字重く受け止める。まず実態把握も含めて、来年暑くなる季節の前に、具体的効果的方法について、調査するよう所管に指示します。」

## ●助成の実現まで頑張ります！

ようやく実態調査をするという答弁を得ました。助成実現まで皆さんとともに頑張ります。



日本共産党世田谷区議団 区政報告ニュース 2022年10月号

**こんにちは 江口 じゅん子です**

連絡先 世田谷区世田谷4-21-27 日本共産党世田谷区議団控室  
メール eguchi3604@gmail.com TEL5432-2791 fax3412-7480

# 質問報告②区民の命守る新型コロナ対策を

一般質問では、第8波に向け、以下4点求めました。

- ①保健所の相談窓口や業務逼迫改善を。保健所の保健師・事務含めた計画的な人員増を。
- ②入院治療が必要な要介護者への臨時医療施設強化を。
- ③全数把握見直しで発生届対象外の区民が医療を必要とする時、迅速に医療機関につながる仕組みを。(詳細の仕組みは下図参照)
- ④インフルエンザと第8波の同時流行に備え、医療機関の財政支援充実を。発熱外来ひっ迫による受診遅れを防ぐため、オンライン診療等区独自の取り組みを。

